

記録米訪長幕統

防衛相、内容確認せず

井上議員「本人招致で究明を」

日本共産党の井上哲士議員は4日の参院安保法制特別委員会で、仁比聡平議員が2日の同委員会でも暴露した河野克俊統合幕僚長の訪米記録を示した内部文書の内容をただし、「事実と責任究明は法案審議に不可欠だ」として、河野氏の国会招致を求めました。

井上氏は、河野氏の訪米時の発言（昨年12月）について「首相や防衛相が知っていたのなら、政府ぐるみで国会を欺いていたことになり、知らなかったら自衛隊の暴走でシベリアンコントロール（文民統制）がきかず、指揮監督責任も果たしていないことになる」と指摘。河野氏が訪米時に「夏まで」の戦争法案成立を米軍高官に公約していたことについて、「昨年12月の総選挙での与党圧勝で」成立可能性が高いなどの認識を持っていたのは確かだ

見」と事実上、発言を認めていることをあげ、「河野氏に発言の中身を確かめたのか」とただしました。

中谷元・防衛相は、河野氏に会ったことは認めたものの、「（内部文書の）内容については確認していない」と答え、問いただしていないことを認めました。

さらには中谷氏は、「他国との関係もあるので、調査は慎重にしなければならぬ」と答えて、米国の顔色をうかがいながら調査をするという卑屈な姿勢を示しました。

井上氏は「問題になって

いるのは日本の自衛隊の文書だ。他国は関係ない」と

中谷元・防衛相は4日の参院安保法制特別委員会

で、河野克俊統合幕僚長訪米記録の内部文書の存否について「来週の月曜日（7日）、早い段階に報告できるように努力する」と明言しました。民主党の蓮舫議員への答弁。

「防衛省がその文書を作成したか否かも含め調査中」と繰り返した中谷氏の答弁で何度も質疑が中断。

「アメリカの許可なしには（内部文書存否の確認も）できない。どこの国の政府か」と批判し、「今度の戦争法案が、そういう政府のもとでつくられているということが浮き彫りになった」と強調しました。

↓関連②面

「7日に報告」防衛相

鴻池祥肇委員長は、「必ず来週の月曜日には存否を報告していただきたい。2日から今日まで返事がないのは極めて遺憾だ」と異例の苦言を呈し、中谷氏も「遺憾だ」と応じました。

蓮舫氏は「国会審議に支障が出ないように部下に命令を出していただければ」と確認すると、中谷氏は「そのようにさせていただきます」と述べました。

蓮舫氏は「国会審議に支障が出ないように部下に命令を出していただければ」と確認すると、中谷氏は「そのようにさせていただきます」と述べました。

蓮舫氏は「国会審議に支障が出ないように部下に命令を出していただければ」と確認すると、中谷氏は「そのようにさせていただきます」と述べました。

蓮舫氏は「国会審議に支障が出ないように部下に命令を出していただければ」と確認すると、中谷氏は「そのようにさせていただきます」と述べました。



質問する井上哲士議員
4日、参院安保法制特委